

第2学年4組 道徳科授業案

第6限 2年4組教室

1 主 題 B-(9)相互理解, 寛容

2 教材名 「気づきドッジボールとぼくらの温度差」 (出典:東京書籍「新しい道徳2年」)

3 主題設定の理由

(1)ねらいとする価値について

中学校の内容項目 B-(9)では、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」をねらいとしている。人の考え方は多様であり、その多様さを相互に認め合い、理解し合いながら、信頼関係を築くことが相手への安心感へとつながっていく。しかし、人のかかわりの中で、自分の価値観や考え方に固執して相手の立場を考えたり、意見を聞こうとしたりせずに、一定の距離をとったりと、互いに対立したりしてしまう場合もある。仲のよい友達同士であっても、ささいなことから感情の行き違いが生じ、意見がぶつかり合うこともある。よりよい人間関係を構築していくためにも、自分の立場だけではなく相手の立場を尊重する大切さに気づかせたい。自分の意見を主張するだけではなく、互いの立場を理解し合いながら互いに歩み合い、信頼関係を築いていこうとする意欲と態度を高めていくため、本主題を設定した。

(2)生徒の実態と目ざす姿

本学級の生徒は、明るく素直で、友達とのふだんのなにげない会話でも自分の意見や相手と異なる考え方を伝えることができる。その一方で、相手に自分の意見だけを一方的に伝え、相手の気持ちや立場を考えずに発する言葉によって友達を傷つけ、トラブルに発展してしまうことがある。このような生徒たちだからこそ、意見の違いを伝えるだけではなく、互いの違いを尊重する大切さに気づかせたい。互いの立場を理解して尊重するには、自分とは異なる考え方を受け入れ、歩み寄ろうとすることが大切である。そういった気持ちをもつことが必要であることに気づき、互いにとって安心できる関係を築いていこうとする思いを抱かせたい。

(3)教材について

本教材は、球技大会のドッジボールで学年優勝を目ざす主人公と、練習に参加しないクラスメイトとの間に温度差があり、対立してしまう姿が描かれている。その後、練習に参加しない生徒には参加できない事情があり、クラスメイトの中には運動が苦手で前向きになれない生徒がいることに気づく。相手の事情と自分の気持ちの中で揺れる主人公が、この後どうするかを考えることによって、互いの立場を理解し、わかり合うには何が大切かを考えさせたい。互いの違いを知ろうとすること、歩み寄ろうとすることの大切さに気づき、よりよい人間関係を気づいていこうとする意欲を高めていくためにふさわしい教材だと考える。

4 本時の授業

(1) 本時の目標

友人関係についての話し合いを通して、自分の意見を主張するだけでなく、互いの立場を理解して歩み寄ろうとする心情を育てる。

(2) 展開

人と人とは完全にわかり合えると思いますか。

10

わかり合えると思う。何でも話せる関係の友達がいるから	完全には難しいけど、わかり合うことはできると思う	わかり合えない。いくら仲がよくても違う人間だし、完全にわかり合うのは難しい
----------------------------	--------------------------	---------------------------------------

湊はこの後、どうするか

A 今まで通り

B 何か対策をとる

絶対に優勝したいという目標のためには、今までのやり方を続けるしかないと思う。クラスみんなでがんばるためには、ある程度無理やりにも練習に参加してもらう必要があると思う。

練習のやり方を見直すと思う。今のままだと、誰も幸せにならないと思う。互いの事情もわかったので、みんなが練習に参加できる方法を考えると思う。

練習に参加できない人はしょうがないのだから、今のやり方で参加する人だけすればよい。練習をしたい人ががんばればよい。

陽菜と話し合うと思う。陽菜の事情を本人からしっかり聞いて、でも自分の思いも伝えて。お互いの事情に配慮したやり方を一緒に考えるんじゃないかな。

※湊の立場だけでなく陽菜の立場も踏まえて考えることができるように、「温度差」が起きた原因を問う補助発問する。

35

人と人とは完全にわかり合えると思いますか

完全にはわかり合えないかもしれない。考え方は人によって違うし、完全に理解するのは難しいのかもしれない。

相手が自分と違う意見をもっていた時、わかりようとせずに自分の考え方が正しいと思ってしまうこともあるよね。

45

わかり合うためには何が一番大切だと思いますか (振り返り)

〓 人と人がわかり合うためには、わかり合おうとする気持ちや違いを少しでも埋めようとする努力が大切だと思う。相手との違いを知ること、そして、歩み寄ろうとすることが、相手を理解する第一歩になると思う。〓

★自分とは異なる立場の意見を聞くことでさまざまな考え方があることを知り、互いの立場や考え方を尊重して歩み寄ろうとする価値に気づき、表現することができたか。(発言, ノート)

※考えることが苦手な生徒には、友達の意見を参考にして、自分の考えを書くように声かけをする。

